

本邦の循環器医のキャリア形成—サブスペシャリティ別検討

PLoS ONE, 2025 年 1 月 10 日掲載

日本循環器学会 JCS-JJC 部会/ダイバーシティ推進委員会

循環器領域に携わる若手医師、特に侵襲的サブスペシャリティを選択する若手および女性医師は少ないのが現状であり、その育成は重要な課題です。しかしながら、循環器医のサブスペシャリティ（サブスペ）別のキャリア形成の現状や影響する因子についてはよく知られていません。

1、研究方法

2022 年 9 月に日本循環器学会の医師会員を対象に行われたキャリア形成アンケートのサブ解析論文です。日本循環器学会の医師会員 14,798 名に対し、Google フォームを用いてキャリア形成に関するアンケートを行い、2,566 名（17.3%）から回答を得ました。専門分野を侵襲的サブスペ（虚血、不整脈、外科、構造的心疾患治療、救急）、非侵襲的サブスペ（それ以外）に分け、研修の機会の不平等性、仕事への不満足度と、それに影響し得る因子について男女別に解析しました。

2、主な結果：

● 回答者の背景

2,566 名の回答者のうち、女性は 624 名、男性は 1,942 名でした。侵襲的サブスペでは、女性は 184 名（全体の 7.1%、平均年齢 44.7 ± 8.7 歳）でしたが、男性は 1,110 名（全体の 43.3%、平均年齢 49.0 ± 9.9 歳）と女性で若手回答者が多い結果でした。侵襲的サブスペにおける女性比率は、男性と比べて著しく低く（14.2 vs. 85.8%, $p=0.0001$ ）、非侵襲的サブスペの女性比率でも男性と比べて低い結果でした（14.2 vs. 34.6%, $p<0.0001$ ）。

● サブスペ別・男女別の研修機会の不平等性、仕事への不満足度

侵襲的・非侵襲的サブスペどちらにおいても、女性循環器医は男性循環器医に比べて研修機会の不平等さをより感じており、かつ仕事への不満足度が高い傾向にありました（図 1）。

● 男女別の研修機会の不平等、低い仕事満足度への影響因子

研修機会の不平等さを感じる因子として、ジェンダーバイアスおよび家庭の事情が女性

で多く、男性はほとんど影響されていないことが明らかになりました（図2）。男性では「所属施設の設備不十分」や「術者チャンスの少なさ」が因子として多く、「メンター不在」は男女ともに研修機会の不平等さを感じる因子でした。

仕事への不満足度が高い因子として、男女ともに「理想や期待と異なる状況に置かれていること」と「忙しすぎること」が多いことがわかりました（図3）。こちらも家庭を含めて個人的事情に対する不満は女性に多く、所属施設への不満は男性に多くみられました。

3、考察と今後の展望

侵襲的・非侵襲的サブスペのどちらにおいても女性循環器医は男性循環器医と比べ研修機会の不平等を感じており、かつ仕事への不満足度も高いことがわかりました。

施設や指導医が若手・女性医師のキャリア形成に関する希望について関心をもち、理想を実現できるようにすることや、個々の状況に応じた環境を整備することが重要と考えられます。性別やサブスペに関係なく、職場の多様性促進や平等なトレーニング機会の提供などのダイバーシティ支援が望まれます。

図1 サブスペシャリティ別・男女別の A. 研修機会の不平等感、B. 仕事への不満足度（F;女性、M;男性）

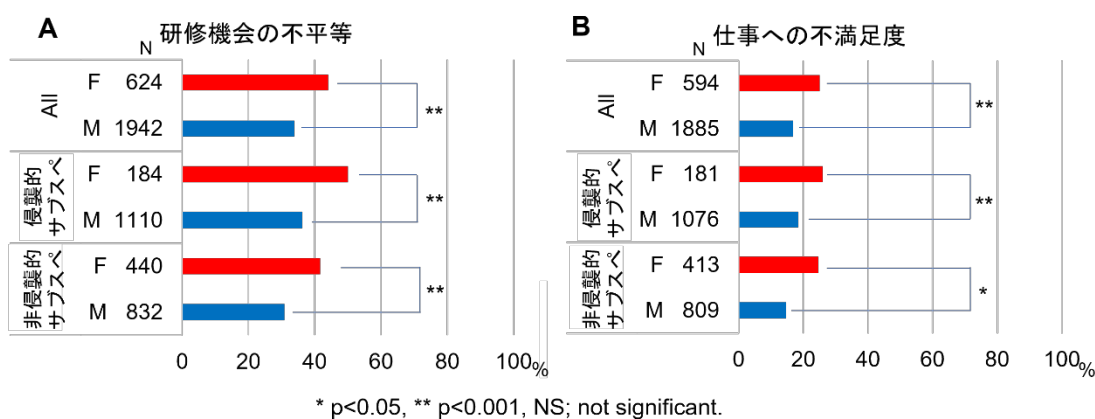


図2 男女別：研修機会の不平等を感じる影響因子

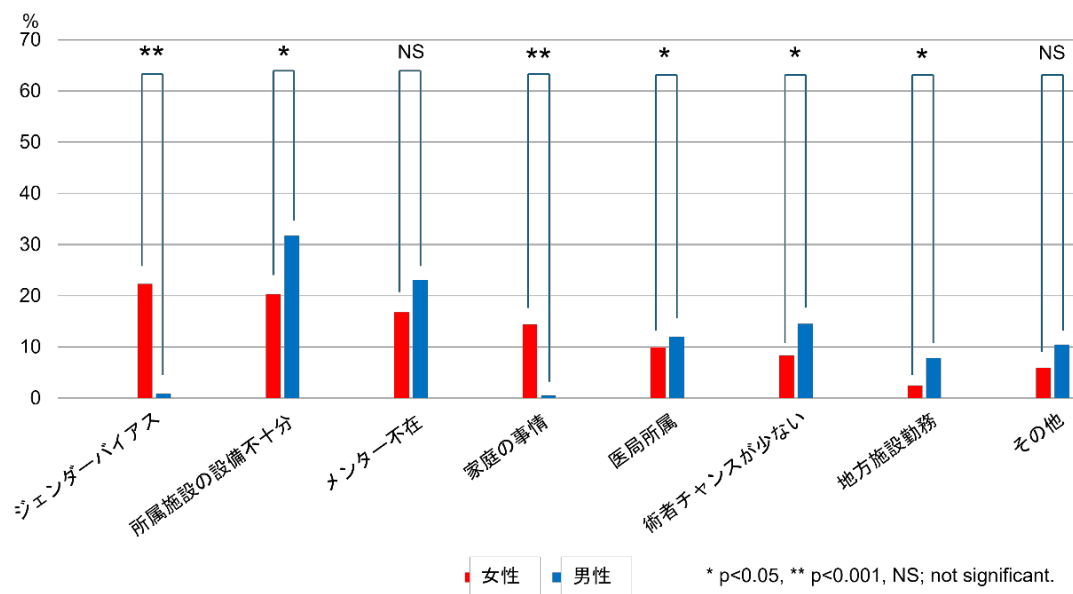
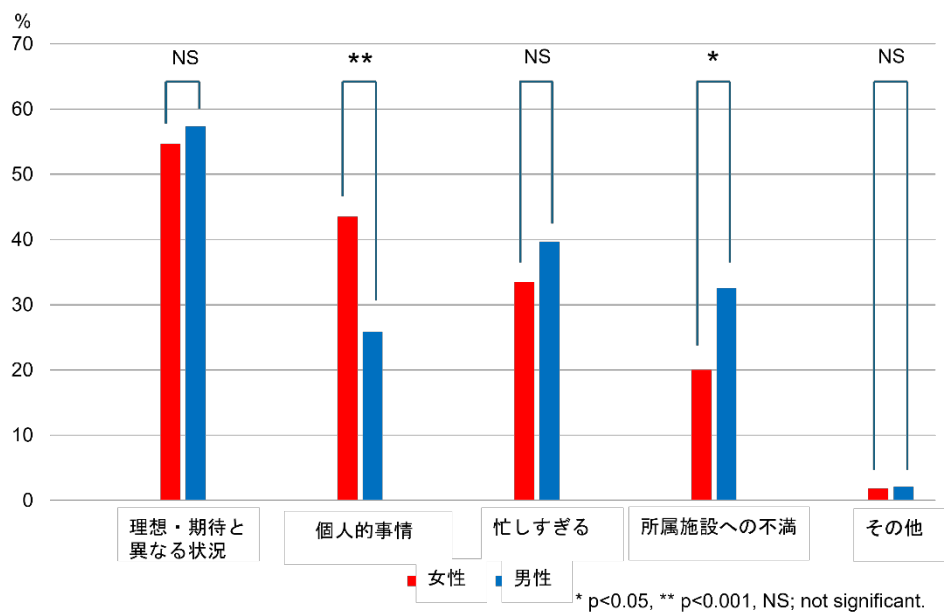


図3 男女別：仕事への不満足度が高い影響因子



発表論文

Shimbo M, Nakayama A, Fukue N, Nishizaki F, Matsumoto C, Noma S, et al. (2025)

A national survey of career development according to gender and subspecialties among cardiologists in Japan. PLoS ONE 20(1): e0317029.

著者： 新保麻衣 （東京大学）

中山敦子（榊原記念病院）
福江宣子（山口県立総合医療センター）
西崎史恵（弘前大学）
松本知沙（東京医科大学）
野間さつき（日本医科大学）
大野聡子（久留米大学）
神谷千津子（国立循環器病センター）
神吉佐智子（大阪医科薬科大学）
井手友美（九州大学）
井澤英夫（藤田医科大学）
谷口達典（大阪大学）
小林欣夫（千葉大学）